

②ワークショップ

清須市で子育てする中でいいところ

(生活環境)

- ・町の人が子ども連れにとっても優しい
- ・市内のスーパーが妊婦、子ども連れに優しい
- ・県内出生率 No.1、子どもの数が多い
- ・名古屋市に近接している。①習い事が選べる ②通勤しやすい
- ・小児科専門の病院がある
- ・公園がたくさんあり遊ぶ所が多い。公園の遊具の種類が多い

(公共施設)

- ・子育て支援センターの先生がみんな子どもを大切に見てくれる。相談にのってくれる。対応がとてもよい
- ・子育て支援センターなど、母親同士の交流の場がある。たくさんの友達ができた
- ・子育て支援センターの雰囲気良く行きやすい（広くておもちゃもあり安心して遊べる）。
- ・子育て支援センター、児童館、清洲総合福祉センターなどの施設が充実している。利用時間も長い。イベントも充実している

(公共サービス)

- ・医療費が中学校卒業まで無料
- ・ファミリー・サポート・センターの方がみんな優しく思いやりがある
- ・安心してファミリー・サポート・センターを利用できる
- ・キヨスマアプリが便利
- ・出産前のパパママ教室を実施
- ・ランドセルがもらえる

項 目	ワークショップから出た課題	ワークショップでの解決策
保育施設・保育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園や保育園、こども園などの選択肢が少ない ・幼稚園が1つしかない。不足している ・保育園の不足、保育園の受入枠が少ない ・部屋の中、園内のみで過ごす日も多い。特色がない ・第1子が保育園に行っていたのに、第2子が生まれた時に保育園を退園しなければいけない ・2歳以下は母の育休中に退園になるのはやめて欲しい ・保育園の給食が良くない ・保育園のイベントが地域で異なっているので統一して欲しい ・希望の保育園に入れず学区外の保育園や兄弟姉妹で通う保育園に通っている人も多い ・保育園に入れるか不安（産後や休職中） ・未就園児の保育園入所が特に困難 ・働きたくても保育園に預けられず働けない ・保育園の途中入園が困難 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園、幼稚園、認定こども園の数を増やす ・幼稚園の充実 ・人口分布調査（市内の地域ごと）→新幼稚園、新保育園の増設 ・私立の認可保育園を増やす ・認定こども園を増やす ・保育、教育の特色をつける ・育休退園制度の廃止 ・育休退園した人へ優遇措置 ・育休中も退園しなくていいようにする ・保育士さんの待遇を良くする（給料アップなど） ・市外の幼稚園に通う人への保育料の補助
一時保育	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園での一時保育サービス ・一児預かりの保育園を増やして欲しい ・一時保育の申し込み方法で要印鑑 	<ul style="list-style-type: none"> ・一時保育の枠（人数）の増加 ・申し込みのオンライン化（印鑑不用）
子育て支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・支援センターの〇〇教室の時間をずらせないのか？ ・支援センターが行きにくい ①駐車場がない ②狭小な部屋等 ・土日に遊べる支援センターを作って欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援センターで順番に平日休むなどして週末利用できる施設を作る ・土日に使用できる施設を作る ・週末に利用できる支援センターのような施設を作る
小学校の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の生徒数に偏りがある ・小学校の人数の偏りがすごい 	<ul style="list-style-type: none"> ・学区の分け方を見直す
ファミリー・サポート・センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー・サポート・センターの浸透、情報 ・ファミリー・サポート・センターの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民への周知ができるよう地区ごとで知り合う機会を作る ・支援センターや児童館のイベントファミサポをもっと宣伝する（提供会員と会う機会）。（あまり理解していない人も多い）

項目	ワークショップから出た課題	ワークショップでの解決策
サポートの利用	<ul style="list-style-type: none"> ・近くに家族がいない人も安心して子どもを預けられる場所がもっと欲しい ・0歳児から預かってくれる預かり保育がない ・ベビーシッターか家事代行サービスが足りない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベビーシッターか家事代行サービスへの補助金 ・産前、産後に気軽に利用できるベビーシッター、保育サービスを作る ・一時保育の受け入れ園の数を増やす ・預かり保育をできる所を作る ・産後2ヶ月から預けられる保育施設を増やす
ママ・パパ・地域の人の交流	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の異なる年代の人がふれあいながら子育てできる場所が欲しい ・男性（パパ、地域の人）がもっと子育てに関わる環境が欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・年配の方など子育ての先輩とふれあう交流会 ・ママ、パパと一緒に受ける教室。パパも一緒に説明を受ける
医療	<ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科と小児科の不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科と小児科の誘致 ・あしがるバスの利用、バスのルートを市外の産婦人科まで延長 ・タクシー代の補助
障がいを持つ子どものサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児教育、サービスの内容と質 	<ul style="list-style-type: none"> ・未満児（～3歳）も含め、訪問支援サービスの開始（特に乳幼児） ・教育機関での研修増加 → 民間サービスの利用
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・近所のスーパーの不足 ・商業施設が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・宅配スーパーの増加 ・買物先の増加。買物難民への対応検討（役所内だけでなく、企業、地域と） ・水はけを良くする
公共以外の集まれる場所	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂が少ない。あっても行きにくい。もっと自発的な地域活動の支援をして欲しい ・気軽に出かける所（子育てサロンなど）が少ない。あっても市が情報提供に協力的ではないとかでたどりつけない ・親子で気軽に食事ができる場所が欲しい ・未就園児と保育園児、小学生と一緒に遊べるような施設があるといい ・ふれあい動物園みたいなミニ動物園があるといい 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロン、サークルの情報は子の健診時にできるだけたくさん欲しい（公、民間関係なく）（フォーマル、インフォーマル） ・施設の充実 ・福祉会館一階の遊具を増やし、食堂を開けて欲しい。またはレンジが欲しい ・市民センターも子育て施設として活用する（飲食ブース、遊具の設置）

項目	ワークショップから出た課題	ワークショップでの解決策
公園の格差	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の公園は古く暗いので遊べない 	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈りをする【住民】 ・遊具の新設、バラエティ、メンテナンス、照明を増やす【行政】 ・公園の定期巡回やメンテナンス。地域住民（町内会など）にも協力を求める ・公園の砂場にフンよけのブルーシートを置いて欲しい ・公園の配置の充実
夏の遊び場	<ul style="list-style-type: none"> ・夏に屋外で小さい子どもを遊ばせる場所が少ない（夏休み中は児童館が使えないため） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小、中学校の体育館などの夏休み中の開放
イベント企画	<ul style="list-style-type: none"> ・土日にパパも参加できるイベントを増やして欲しい ・企画、イベントがあっても行きにくい場所が多い（特に西枇杷住民にとって） ・親子で楽しめる音楽イベントがあるといい 	<ul style="list-style-type: none"> ・企画の見直し ・春日の広場で音楽イベントをやる（学生、アマ）
公共サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・市の公共施設の交通の不便さ ・あしがるバスの使い勝手が悪い、バス停に屋根がなくつらい ・出生数の増加は三菱社宅効果では？そこへの対応（西枇杷地区）が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・運行の見直し。バス停の状況→改善 ・屋根を付ける、屋根がある所での待ちをOKにするなど ・移住予定者の予測とその対応 ・既存の公共施設の活用→土日など気軽に使えるように
市役所の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所の所員の子育てへの理解不足、思いやり不足 ・市役所の子ども関係は情報をもっているはずなのに知らないと言われることが多く、信用できない部分あり ・市職員の対応の悪さ（たらいまわし）、情報不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ては母親の役目という考えを改める ・子育てに理解をもって欲しい ・子育てを充実させている市町村の例を見る ・子育てしている人の意見を聞く場を設ける ・市職員の横のつながり強化（課を越えて）→ 情報共有 ・市職員の教育 ・職員の資質向上へ、連携先との共同研修を増やす